

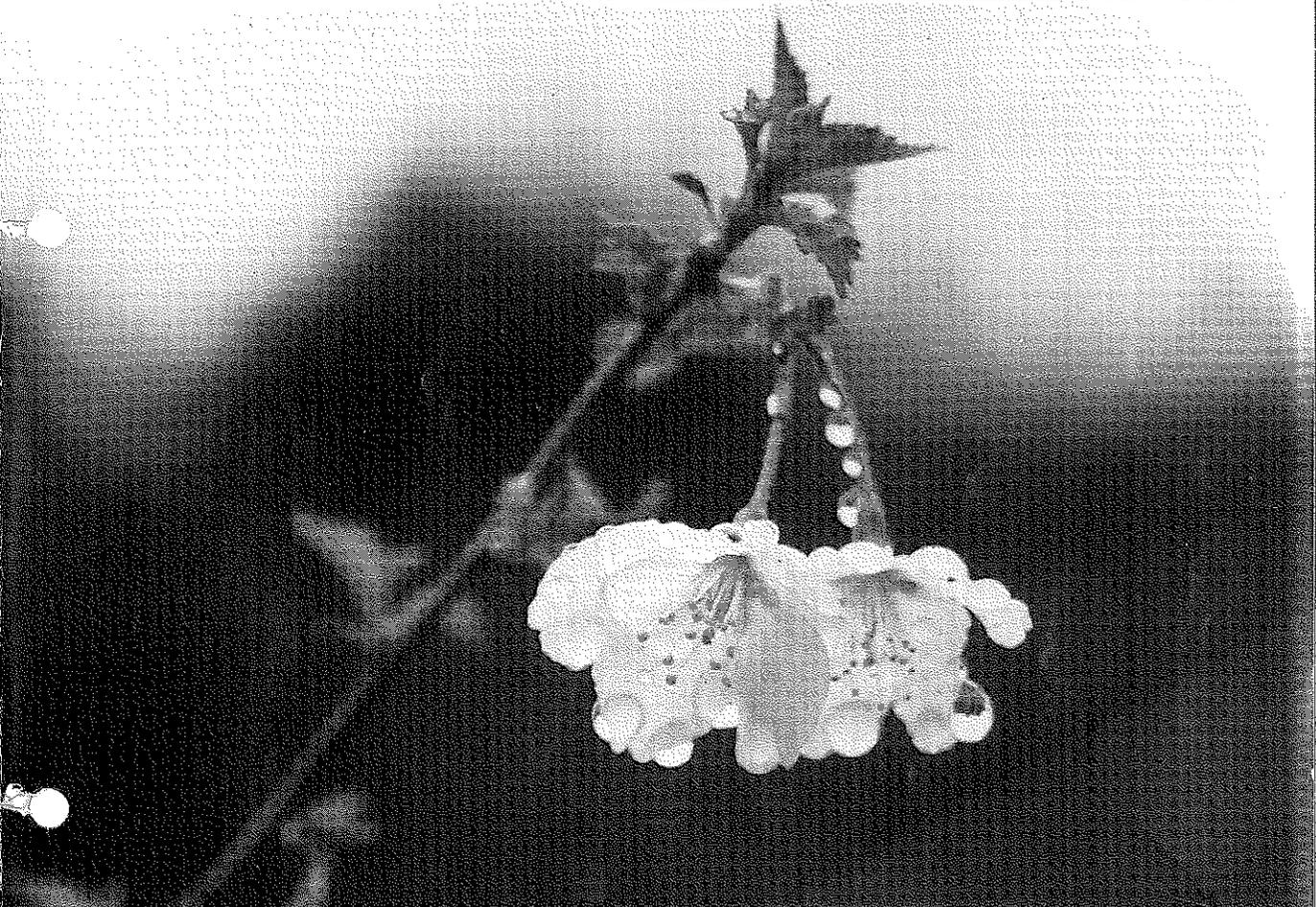
NAGASAKI YOUNG



1991年4月5日 社団法人 長崎青年協会会報 第142号

GENERATION ASSOCIATION

# 社団法人 長崎青年協会



■本年度スローガン

**歴史に学んで 未来を語り  
築き上げよう 長崎の明日**

社団法人  
**長崎青年協会憲章**

我々は会員の団結と  
相互扶助の精神の基に  
自己の建設と  
会員の親睦を図り  
もって地域社会の発展に  
寄与する事を目的とする

# 4

発行/長崎市魚の町7-7  
(社)長崎青年協会  
会長 劉 濟才  
編集/広報委員長 中村 善人

創立/昭和44年3月1日 社団法人設立/昭和59年3月23日

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

# 抱負を語る

今年度会長

劉 済才



桜の花もあちらこちらで見られる様になり、コートのない暖かさになってきました。

桜といえば、進入学、卒業の季語みたいなもので、各機関とも年度の交替、人事異動などで、大

変忙しい毎日をお過ごしのことと思います。

青年協会におきましても、20周年という大きな節目を越え、又、最近では最大のイベントとも言える長崎旅博覧会も、官民一体となって盛況のうちに無事終了し、その中で私達協会が、一丸となり取り組んだ“旅博おもしろ歴史クイズ”なども、その成功の内の一つを担っていたと自負するところです。

そして、今年、我々は21世紀へ向けてこれまで積み上げてきた実績、経験をふまえ、行政、地域団体との交流をよりいっそう深め、地域社会において大きな役割を果たしたいものです。

その為にも、会員一人一人の意識の向上を図り、地域に密着し、又、地域からの要請に対応できる体制作りをしていかなければならないと思います。

微力ではありますが、私自身気をひきしめて取りくんでいくつもりですので、どうぞ会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

直前会長

田代博昭



皆さんこんにちは、3月20日は、市内小学校において卒業式が行われましたが、私達、長崎青年協会においても6名の仲間が、3月例会をもって卒業されました。

人生において、20歳～40歳という青年期は、家庭や仕事など新たな経験を積み重ねながら、基礎

を築いていく時期に、青年協会と出会い、よき友を得、活動を通じていろんな体験をし学ばれたことは、貴重な財産になられたものと思います。

入会されてからこれまでは、家族や仕事の方々の理解を得るために、日頃から自己管理に努めるなど、それぞれ努力されてきたものと思われます。卒業されてからも、これまでに得たことをいかして、益々活躍して下さい。

さて、今月は長崎青年協会平成3年度の初めの月であります。平成2年度には、一年間皆様方に、協会活動において何かときついことや、会費値上げなど出費負担をお願い致しました。

このことは、協会22年間において、ひとつの変革期を迎えているのではないのでしょうか。

地域社会において年々期待をかけられ、それに答えて行くためには、我々自身にもっと投資をし自己を磨き、より活発な組織となって行くことで、今後、さらに飛躍することができるものと思っております。

これまでにおいて、皆様方のご理解、ご協力に感謝し、お礼を申し上げ、私の挨拶にかえさせていただきます。

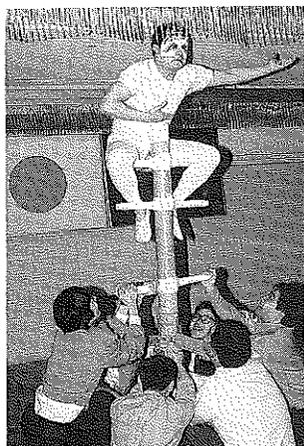


# 卒業者を 送る夕べ

平成3年3月20日 ホテルニュー長崎にて



明日は二日酔ですか？



人間国宝 渡辺君の竹ん芸



いつまでも  
説教して下さいね桂君



かっこつけての白浜君



卒業者を迎えるこわいOB会のメンメン



いつまでも夫妻仲よくね!!

## ||||||| 卒業者のことば |||



桂 孝道君

昭和61年入会

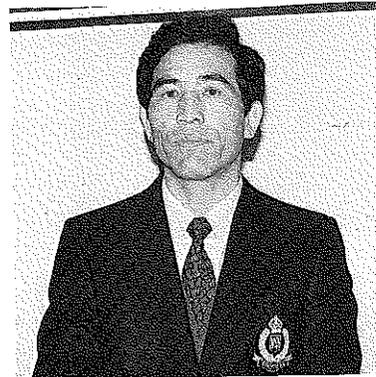
柔道の世界しか知らなかった私が青年協会に入会して、5年が過ぎもう卒業となりました。青年協会という異業種の人達の集りの組織の中で、多くの事業に取り組んだり、又企画したりしたことなど大変勉強になりました。自分と仲間の考えが違い辞めやようと思ったり、忘年会のすごさに驚いたり、又雪の降る日に始めて、ゴルフをやり、ピリの敢闘賞となり、家内からスポーツマンの貴方が情けないね～と言われ、家中大笑いしたことなど、今、懐かしい思い出です。若いつもりが、40歳になり残念ですが卒業しなくてはなりません。青年協会の皆さん長い間お世話になりありがとうございました。

62年入会し約4年間皆様と共に協会の活動に参加して来ました。最近慣れたせいか例会とか各種の行事に参加する事も多少、少なくなりましたが、入会当初は海のフェスティバルとか、おくんち広場に参加するのが大変な喜びでした。

この4年間見知らぬ世界に飛び込み多くの人と知り合え多くのことを学び、大変有意義な時間を過ごさせて預きました。

今後も今までの経験を生かして、より大きな目標に向かって前進したいと思っています。

後輩の方々に対してはまったく何もできなかった事を心からお詫び致します。



塩田 和海君

昭和62年入会

私が青年協会に入会したのは、昭和57年7月あの長崎大水害の年です。299人の尊い命を奪ったどしゃ降りの雨、それはまるで滝のような雨でした。今でも目を閉じると、その頃のことが臉に浮かんできます。

私自身は、仕事の都合上4年程福岡に居ましたので、「アッ」という間の9年間でした。

青年協会で得たもの・・・それは素晴らしい個性溢れる先輩方と、数多くの友人でした。そして、もう1つは個々のレベルでは不可能と思われる事でも、個々の力を結集すれば素晴らしい事業ができるという事、これらは、これから先、私の人生に於いての素晴らしい宝であると同時に仕事の上でも、大きな自信につながると思います。

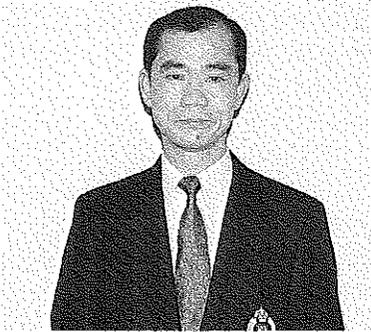


木藤 俊郎君

昭和57年入会



早いものでもう卒業を迎えてしまった。在籍期間5年は、余りにも短い1ページであった。しかしこの間には色々な事があり、途中挫折しそうになった時にも多くの友が声を掛けてくれ奮起することができ、スリーピング会員とならずにこうして卒業できるのはメンバーの暖かい気持が大きく私を包んでいてくれたからだと思うと、会員のひとり一人にありがとうと言う感謝の気持でいっぱい。青年協会、ありがとう。みんな、ありがとう。これからも良い友で……。



山口 純治君  
昭和61年入会



栗原 耕一君  
昭和57年入会

卒業の時がやって来ました。想えば昭和57年に入会以来9年という歳月が矢のように過ぎて行きました。色々な人との出会い、そして楽しい語り、苦しかった事、嬉しかった事、その全てがこれからの私の糧となり支えとなるでしょう。本当にお世話になりました。ありがとう……。最後に皆さんにエールを送ります。長崎青年協会よ永遠なれ!! 後輩諸君に栄光あれ!!

青年協会で学ぶ事は、自分の意識の向上に大いに役に立っている訳で、その意識をどこで発揮するかで、自己の存在価値をアピールできる訳であります。

自分の存在価値は、自分で計れるものではなく、周囲の評価によるものが普通である。それを、わからせるための努力をする事が、自己の存在を周囲に対し評価させる上で大切な事だと思います。

皆さん、青年協会に学ぶ事は沢山あります。それを自分のものにして、自分自身の価値を上げるための肥やしにする事が出来れば、物事の価値判断を誤ることは少なくなり、仕事にも、反映できるものと思います。



白浜 政文君  
昭和55年入会



## 御結婚おめでとうございます!

3月23日(土)、青年協会の若き星、城谷富好君がホテルニュー長崎にて結婚されました。会員による中国獅子舞や歌等で祝福され、博子さんと共に幸せな家庭を築かれることと思います。マンションも綺麗に片付き皆さん是非お越し下さいとのことでした。新婚旅行はオーストラリアだそうです。HAPPY

### ソフトボール同好会

監督 船越正治

過去の栄光を御存知の方には、昨今の不成績には憤懣やるかたないとの気持ちの方も多々と思いますが、『今年こそは勝つ』を合言葉に同好会メンバーは頑張っております。相手チームの野次に負けていると思われまので試合当日は多数の応援をお願い致します。4月7日松山陸上競技場で行われる入場式の為、只今特訓中です。イチ、二、イチ、二。

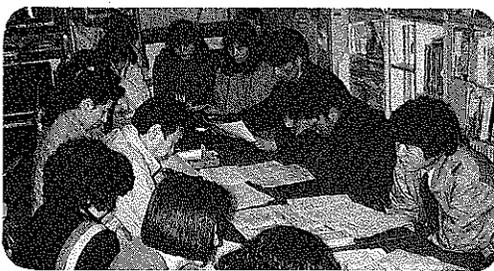
### 釣り同好会

幹事 山口丈司

本年度は私がお世話をさせていただきます。軽いクーラーを下げて帰るのが常の私ですが師匠である田代直前会長のアドバイスの下に頑張っておりますのでお願い致します。さて4月の予定では14日(日)日帰り五島遠征を行ないたいと思います。また、茂木の沖波戸でのメイト釣り等、計画中ですので御連絡下さい。これから釣りを始めようという方も大歓迎です。連絡先 ☎24-2333 山口まで

## 歴史研究会

去る3月16日(土)、西町学童保育コスモス母親クラブのご依頼を受け当サークルの大塚君が長崎の歴史について講演を行い、長崎が鶴の港と言われる由来に始まり西町地区が昔、西浦上村であった頃の話等を紹介し、質疑応答も交えての楽しい一時となりました。長崎の歴史と言えば出島や幕末の頃のイメージがクローズ・アップされがちですが、今回は特に、自分達の住む町の歴史に興味を持っていただき、郷土に対してお子様と語り合える身近な話題となれるようにと思ひ資料を集めてきました。時間の都合で全部を紹介できなかったのが残念でしたが、当サークルにとっても新たな発見や課題を与える貴重な経験となり、さらに活動の励みとなったことと思います。また、本年度のスローガン“歴史に学んで未来を語り築き上げよう長崎の明日”を推進する知恵と汗の集団として、自覚を持った活動を目指しています。



文化財清掃の資料を見る父兄の皆さん

#### 歴史を学ぶ時の注意点を説明

- ①人名の変更(成長、襲名、帰化等)
- ②施設・建築物の名称変更
- ③地理的要素(埋め立て、旧街道、同名地所)
- ④旧暦・新暦
- ⑤神社仏閣・教会等の破壊、移動
- ⑥様々な説がある(歴史の魅力)